

脱炭素社会の実現を目指して



7月13日、諏訪信用金庫と諏訪6市町村は、脱炭素社会の実現に向けた連携協定を結びました。

脱炭素社会は、地球温暖化の原因となる、「温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現」する社会のことです。この協定は信金と市町村それぞれの間で結ばれ、実情に応じた温室効果ガスの排出削減につながる幅広い連携と、具体的な活動を進めることを目的としています。今後は信金の店舗を活用した広報等をはじめとし、脱炭素社会の実現に向けた幅広い取り組みを進めていきます。

清水幸次教育長退任式



7月21日、清水幸次教育長の退任式が役場講堂で行われました。

清水教育長は令和2年7月23日に教育長に就任し、子ども達の居場所づくりや学びの機会の確保などに尽力されました。

清水教育長は「コロナウイルスの脅威がピークに差し掛かった時期に就任し、5類の移行とともに退任となり、withコロナの3年間でした。教育改革のチャンスだととらえ、中核となる『学び場所の環境づくり』や学校園の意識改革などを行ってきました。学校園の気風も変わってきており、職員や子ども達の柔らかな表情を見せてくれるようになったと感じます。3年間ありがとうございました。」と挨拶しました。

地域の方に感謝！ 長野県嘱託警察犬競技会 優勝



第62回県嘱託警察犬競技会「足跡追及」の部で、南原の小倉こずえさんとさくら(犬名・フレア)が優勝しました。

小倉さんとさくらは、茅野警察署の要請を受け、主に高齢者の捜索などの現場に出動しています。訓練場所は広い土地が複数あることが理想。小倉さんは「地域の方のご厚意で畑やグラウンドなどをお借りし、朝5時頃から練習しています。周りの方のご理解とご協力に、本当に感謝しています。高齢化も進み、嘱託警察犬の出動件数も減ることはありません。多くの方に嘱託警察犬に興味を持っていただけたら」と話しました。

火の女神「フーちゃん」の レプリカをご寄贈いただきました



7月20日、岡谷市の丸山直行さんから「フーちゃん」のレプリカをご寄贈いただきました。

丸山さんはセイコーエプソンの写遊会の会員で、陶芸や写真を趣味にしています。今回寄贈いただいた「フーちゃん」も丸山さんの作品の一つです。

丸山さんは、「フーちゃんは、裏側の網目になっている部分を作るのがとても難しく、出来上がりまで6日ほどかかりました。縄文時代に使われていたように実際に火を焚いたりして、文化財のイベントなどで活用していただけたら。」と話しました。

おめでとう！ ～出産祝金贈呈式～



7月3日、子育て支援センター「はらっば」で出産祝金の贈呈式が行われました。

出産祝金は令和5年度からの新事業です。令和5年4月1日以降に生まれた赤ちゃん1人につき10万円をお贈りしており、財源の一部に「ふるさと寄附金」が充てられています。

贈呈式に出席した清水さんご家族は、「物価高騰でおむつ代などもかさむので、とてもありがたいと思います。」と挨拶しました。

イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー 災害時の物資支援協についての協定を締結



7月5日、原村役場講堂でイオンリテール株式会社と「災害時における物資支援協力に関する協定書」の調印式が行われました。

五味村長は「近年、災害が激甚化しています。2019年の台風19号災害の際には原村でも初めて避難所を開設しました。今回の協定は避難所開設の際にとっても心強く思います。」と挨拶しました。

北陸信越カンパニー長野事業部の佐藤大 事業部長は、「安心安全の地域づくりに貢献することが社会的使命と考えております。防災の意識向上にも役立てたらと思います。」と挨拶しました。

南原区で公民館備品の整備 ～コミュニティ助成事業～



南原区は一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成事業(宝くじの社会貢献事業による実施)を受けて、机や椅子など公民館備品の整備を行いました。

「コミュニティ助成事業」とは、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターが実施する事業で、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、自治会等のコミュニティ組織が行う活動に必要な備品や設備の整備に対して助成を行うものです。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える社会へ！ 大臣メッセージ伝達



7月3日、諏訪地区保護司会原支部の保護司と原村更生保護女性会が「社会を明るくする運動」に係る大臣メッセージを村長へ伝達しました。

この運動は、すべての国民が犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうという趣旨のもと毎年行われている全国的な運動です。

村長は「行政として、「社会を明るくする運動」に協力し、取り組んでいきたい」と挨拶しました。

毎年、村の小中学生がこの運動についての作文に取り組み、コンテストに応募しています。

令和5年度 第32回 原村村民スポーツ祭

7月15日、小学校校庭で令和5年度第32回原村村民スポーツ祭が開催されました。コロナ禍での中止や御柱年の見送りを経て4年ぶりの開催となった会場には、各地区からの大人から子どもまで、多くの住民が集まりました。

「こぼさず運ぼう満たんりレー」では湯呑み茶碗の

水をこぼさないようにそろりそろりと小走りで運びました。「空を駆ける少女」では応援にも力が入ります。「綱引き大会」や「玉入れ」は地区を挙げての熱戦となりました。最終競技の「年代別リレー」を終えた結果、優勝はやつがね区。32回を重ねた優勝旗を五味村長から受け取り、和やかな一日を閉じました。

